

2019年「姫路高校 今年の漢字」



2019年「姫路高校 今年の漢字」生徒部門には294名から応募があり、いちじ、いいひ、の「漢字の日」、12月12日（木）に図書館内で図書委員長の司会のもと、書道部の皆さんの気迫のこもった揮毫により、つぎのとおり発表しました。

2019年の「姫路高校 今年の漢字」の「生徒部門」は

1位	2位	3位	4位	5位
令	変	新	楽	和笑

「先生部門」は

親	祝	忙	知	陸	新	一	湯	健	実	改
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

日本漢字能力検定協会の2019年の「今年の漢字」は

1位	2位	3位	4位	5位
令	新	和	変	災

なんと、生徒部門の4つも日本漢字能力検定協会の漢字と一致しました。
皆さんの思いのこもった漢字の応募を有難うございました。

応募理由を紹介します。

第1位の「令」は、「新しい元号「令和」が始まった」、「令和の令だから」ということが大多数でした。

第2位の「変」は、「変化の変で、平成が終わり令和になったし、私自身、高校に入っているいろいろ変わったから」、「今年、姫高に入学して、環境も勉強の内容も、がらっと変わったから」、「環境が変わり、友人も変わり、部活や勉強も、いろいろなことがこの1年で変わったから」、「英語の民間試験が何年後かに変更したり、東京オリンピックのマラソン競技が北海道ですることに変更になったりしたから」、「変りたいから」ということでした。

第3位の「新」は、「令和の新しい時代になったから」、「新しいことをたくさんして、慣れないことばかりで辛い(つらい)時もあったけど、だんだん慣れてきて、高校生活が楽しくなってきたから」、「初めての高校生活で、新しいことだらけだったから」、「掃除機、電気、洗濯機、トイレなどが壊れて新しいもの買い換えたから」ということでした。

第4位の「楽」は、「高校生活が本当に楽しいから」、「去年以上に楽しい1年だったから」、「勉強は楽しくなんかないし、むしろ、しんどいけど、肩の力を抜いて、逆に楽に、楽しむくらいの気持ちでいたいから」、「高校生活の中で一番楽しくて、充実した年だったから」、「高校生活最後の一年を楽しんで過ごすことができたから」ということでした。

第5位の「和」は、「令和になったから」、というのが一番多いです。他には、「平和になってほしい」、「今年も平和だった」、「災害が多かったので来年は和む(なごむ)ように」、「二宮和也くんが結婚した」、というのがありました。

もう一つの第5位の「笑」は、「日々、楽しい高校生活を送っていて毎日笑っているから」、「修学旅行や学校生活など、笑顔でいることが多かったから」、「笑って卒業したいから」、「1年間、たくさん笑ったから」ということでした。